



第1号／創刊号



TAKE FREE



「あ」でみる小布施。

CONTENTS

- 04 「あ」からはじまる小布施町、おしえてください。
- 06 ア・ラ・小布施 - 移住支援コーディネーター 勝亦 達夫 -
- 08 あそび人 - 小林 秀樹 -
- 12 あきかさん
- 13 穴観音
- 14 特集 小布施アイス図鑑
- 16 アイアンクロウ スケートビレッジ
- 17 アンティークアクセサリー - La Bibeloterie -
- 18 朝市 - 栗どっこ市 -
- 19 オブセにナンカ妖怪
- 20 おばあちゃんの背中
- 22 編集後記



同時開催 写真展 ゆうな 汐風を探して

3.11— 東北を襲った東日本大震災。2014年3月、全国の犠牲者は死者1万5884人、行方不明者2633人に上る。大津波にのまれた不明者の搜索は今なお続く。

原発からほど近い福島県大熊町で震災後行方不明である少女、汐風の命が輝き続ける、穏やかで優しい写真展です。



Ever Green Snap Contest

★ イベント当日、あなたが切り取った Ever Green “色褪せない” 思い出を写真または動画に残しませんか？ 優秀者3名には、素敵なプレゼントをお送りします！

ぜひ、カメラをご持参ください！

※ 投稿、送って頂いた写真・動画は、後日制作するイベントムービーで使用させていただく場合があります。



「あ」からはじまる小布施町、おしえてください。



有志の出資により株式会社
が立ち上がり、それぞれがそれ
ぞれの得意な分野で事業を展開
し、得た利益はまたまちづくり
の事業に反映させていく、とい
うエコサイクルによって、まち
を活性化させようとしています。
今後のア・ラ・小布施の展
望についても勝亦さんにか
がいました。

「定住促進のためには、住宅
を紹介したり仕事を斡旋するこ
とも必要なことだと考えていま
すが、それ以上に、どうすれば
まちが生き生きとした形で継続
していくか、内の人も外から来
た人も小布施のまちづくりにと
うしたら参加できるかを常に意
識していますね。今も現在進行
形でア・ラ・小布施からどん
どん新しい事業が生まれてきて
います。農家さんと協力して小
布施の野菜を通信販売する計画
や、地域ギフトとして商品をパ
ッケージングして売り出す構想も
あります。また、今はシェアス
ペース、場所貸しにも力を入れ
ています。ゲストハウス前のス



キーワードは「小布施風に、小布施流に」。
はじめましての小布施はア・ラ・小布施から。
そして、より深く楽しむ小布施もア・ラ・小布施から。

「ガイドセンター」と聞くと、まず真っ先に思いつくのは観光案内。
でもア・ラ・小布施はもっともっと
広がり深さと可能性にあふれた動きを続けているんです。
街に対する優しい思いはまさに「小布施スタイル」。
ア・ラ・小布施のあらましと今後の展望について、
移住支援コーディネーターの勝亦達夫さんにお話をうかがいました。

number.01

あ

・ら・おぶせ「ア・ラ・小布施」
小布施町・中町

小 布施のメインストリート
の入り口、中町南の交差
点にあるア・ラ・小布施。「お
ぶせガイドセンター」の看板を掲
げ、表向きは観光案内所・カフェ・
地元の特産品の販売所・ゲスト
ハウスの複合施設というたず
まいになっています。これだけ
でも充分すぎるくらいに観光の
拠点として充実したスポットな
のですが、勝亦さんは「確かに、
表向きでわかりやすく目に見え
ている部分で言うとうホテルと喫
茶とガイドの会社つてなるんで
すけど、本来はブラサの事業
をやるためのまちづくり会社な
んです」と話します。

スアのカルチャー教室「ア・ラ・
カルチャー」、さらに農村シェ
アオフィスの運営など、小布施
を訪れる人だけでなく、そこに
暮らしている人も一緒になっ
て街と関わっていくことがで
きるさまざまなプロジェクト
をア・ラ・小布施が主体となっ
て発信しています。

ア・ラ・小布施の幅広い事業
活動の秘密は、その成立形態と
経営方針。

「第三セクターの株式会社と
して出資者を募り、経済活動で
得た利益配当は行わず、その
資金を地域活動に還元する
という形を取っています。ア・ラ・
小布施に限らず、小布施にあ
る企業の多くが同じように『街
そのものを大切にしていく』と
いう姿勢を持っていると思い
ます（勝亦さん）」



1. 大学の研究室という形で小布施と関わり始め、学生時代から実践的な提案を街に対して行い、形にしてきた勝亦さん。2. ガイドセンターの職員として、広報的なボジ
ションもこなす勝亦さん。この日は海外メディアの取材に応じていました。3. ガイドセンター内の喫茶スペース。カフェ営業、特産品の販売にとどまらず、シェアスペ
ースとして夜はバーになることも。4. 土蔵を再生して作られたゲストハウスは全4部屋。「コミュニケーションツール」として位置づけられ、小布施を訪れる人に快適な
空間を提供しています。5. 緑に囲まれたゲストハウスの入口。街の中心街にもかかわらず、喧噪からは一歩離れた静かな空気が漂います。

ベースで野外音楽フェスを開い
たり、ガイドセンター内の喫茶
スペースをバーやミニコンサー
トの会場に使ってもらったり。
『こういうことをやりたい』とい
う人が集まって、そこで交流が
生まれてまた新たな動きや仕事
が生まれてくる。シェアスペー
スはそんな可能性も秘めている
と思います」

「旬」の小布施の動きが肌感
でわかるア・ラ・小布施。今
日も文化発信の拠点という役割
をしっかりと果たし、喫茶スペー
スではゲストハウスのお客さま
が観光情報をチェックし、街の
住民がカウンターで本を読みな
がらコーヒーを飲み、2階から
は子どもたちの元気な声が聞こ
えてきています。



株式会社 ア・ラ・小布施
小布施町小布施789
☎ 026-247-5050
9:00～17:00
<http://www.ala-obuse.com/>

BUSE OPEN OASIS

number.02

あそびにん「遊び人」

小布施フリーストーク、小林秀樹の場合。

ちよつとラフに言うならば「小布施が今、ヤバイ」。
旧来の小布施のイメージでは収まらない面白い刺激が
小布施の随所で発生しはじめているんです。
そこで、今の小布施を熱くする仕掛人、小林秀樹さんに登場してもらいます！
「いろんなところで『遊び人』って言われるんだよね」と話す小林さん。
そのたまたま、ただの遊び人というよりはむしろ、イキでイナセな傾奇者。
インタビュ中、次から次へと溢れ出るアイデアはまるで洪水。
怒濤のようなアイデアを片っ端からカタチにしていっちゃう小林さん、
そしてそのアイデアを街ぐるみでブッシュしていっちゃう小布施、
どっちも最高だと思いませんか？
それでは飲み込まれてください、小林さんのアイデア洪水に！



小林秀樹 Hideki Kobayashi
1974年8月6日生まれ、小布施
在住。アイアンクロウ代表として
スノーボード遊具の開発の傍ら、
各種イベント、スポーツ施設等
の企画を行う。

なによりまず、

自分が『楽しい』って思えること

小布施ハイウェイオアシス内の小布施ハイウェイミュージアムをリノベーションし、2014年7月にオープンしたボルダリングジム・カフェ・木工スペースの複合施設『小布施オープンオアシス』。そして、高井鴻山記念館で毎年夏に開催されている「本気過ぎる、ガチのお化け屋敷」と評判の『妖怪夜会』。さらに、小布施町商工会青年部60周年を記念した、雁田山の麓の緑道を使ってカートに積まれたバケツの水をこぼさずできるだけ早くコースを下りきるレース『夏だ！小布施だ！SPLASH-GO-KART』。

これらを企画したのが小林秀樹さん。スノーボード遊具の開発やイベント企画の傍らでスケートボードパークの設立や諸々のイベントの運営、さらには北斎館のプロモーション映像ではなんと葛飾北斎役として役者までこなしてしまうそのモチベーションの源泉はどこに？

「なによりまず、自分が『楽しい』って思えることを大切にしているよね。『小布施オープンオアシス』につい

てもさ、ハイウェイミュージアムをリノベーションしてなにかやろう、って話があったときに『ハイこれ来た！』って思ったもん。ちょうどその時ボルダリングに興味を持っていて、いや、やったことはなかったんだけど、やってみたくなたからさ。『オッケー、ボルダリングジム作っちゃおう』って言って。そこから形にするのはほんと早かったよね」

『何かを仕掛ける』のが好きなのかも知れない

屈託なく話す小林さん。子どもの頃から、そのアイデアとイベント企画力はキレッキレだったようで。

「もう生まれながらにして『何かをやろう』って思ったら形にするのは早かったよね。小学生の頃からカギカを捕まえて売ったりとか、中学生くらいには学校履きの仕入れみたいなことをやったりとか（編注・どちらも『そこそこ儲かった』そうです）。『何かを仕掛ける』のが好きなのかも知れないね、もともと。なにかアイデアが出てくるとそれを書く。書いてみると作りたくなる。作ってみると売ってみんなに広めたくなる。それで、売るためには良



(上) 小布施オープンオアシス内のボルダリング施設。オープンから新聞やテレビ等のメディアの取材も続き、連日大勢のお客さんでにぎわっています。初めてのお子さんでも安心して楽しめる、スタッフのホスピタリティも人気の一因。
(下)『夏だ！小布施だ！SPLASH-GO-KART』の模様。記念Tシャツプレゼント、オリジナル小布施カレーの販売など競技以外のお楽しみも満載の一日でした。



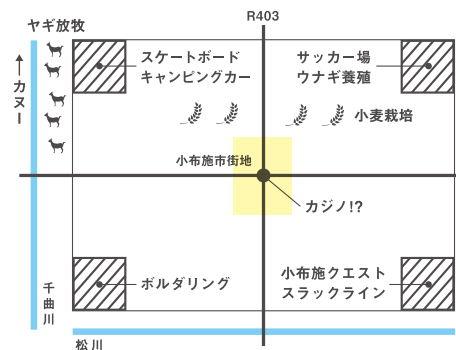
『妖怪夜会』の告知ポスター。今年も大盛況で、小林さん曰く「小布施の子どもがみんな来てたんじゃないのってくらいの賑わいだっただ（笑）」とのこと。ちなみに今年の妖怪は総勢34名、妖怪&お化けからダース・ベイダーまで幅広いラインナップで来場者を驚かせていました。

く見せる必要があつて、良く見せるためにはイベントだ、と。一緒にみんな何かをやるとき、それをまた別の人に話したくなるじゃない？『こんな面白いことをしたんだよ！』って。で、それが宣伝になってどんどん広がっていくっていうかね」

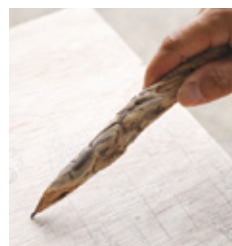
小林秀樹的、小布施未来図。

身振り手振りを交えながら、楽しそうに話す小林さん。思いついたらさかさずアウトプット、そう話すとおりにおもむくに鉛筆（編注・取材前に近所の子どもたちと遊びながら作ったハンドメイドのものらしいです）を手に取り「小林秀樹的小布施未来図」をベニヤ板のデスクに書き始めました。

「小布施、もっともっと面白くなつていくと思うよ。今の構想を話すと、このあたりに河川を使ったカヌーのコースを作つて飯山くらいまで行けるようにしちゃう。で、このあたりにはキャンピングカーが来たりもするアウトドアパーク。さらに、このへんはサッカー場とウナギの養殖場。いや、ウナギ好きだからさ。河川敷にヤギなんかいっても最高だよ、メエメエ鳴いて、チーズなんか作つて。減反で空いてる農地なんかでは小麦を作つて、うどん



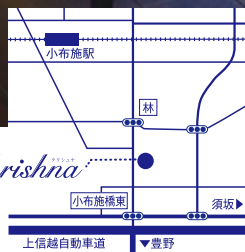
(左上) これが「小林秀樹的小布施未来図」。ベニヤ板に小林さんが書いたものを拾い上げてまとめたこんな感じ。ただの空想図ではなく本当に実現しようかと思えてきてしまうところが小林さんマジックかと。小布施でヤギ、見たいですね？
(左下) 近所の子どもたちと遊んで作ったというハンドメイドの鉛筆。小布施オープンオアシスのイメージ図についても自分で描き起こしたりと、自分のアイデアを様々な方法でまず「見える化」していくところも小林さんの「夢を現実にする力」の秘密の一つなのかも知れません。



を名物にするのも面白いかも。栗のまち、花のまち、北斎のまち、それだけじゃなくて、もっといろんな楽しいことがギュッと凝縮した街になってくといいいよね。で、ゆくゆくはね、考えてるのはカジノ。高井鴻山記念館の地下を使つて。いろんな人に「何言つてんだコイツ」って言われちゃうけど、それって絶対面白いよな、って思うんだよ」

「最初から『小布施のためになにかをしよう』って思っているわけではなくって、自分が楽しいって思えることを街と一緒にやっていくって感じだよ。それが結果、小布施のためになるならそれはそれでいいことだと思うしね」

飄々としつつ、様々なアイデアで街に刺激を与え続け、その人柄もあって多方面から「ヒデさん」と慕われる小林さん。今後また「ぎりぎりセーフ（むしろ若干アウト気味？）な企画を目にしたら、それはヒデさんプロデュースの企画かも。これからの動きも期待大ですよ。



アーユルヴェーダとは

5000年前から伝わるインドの伝統医学
生命の科学 心身の健康を保つ健康法
スリランカのドクターオイルを使って、バランスを整えるオイルマッサージです。
しっかりとしたカウンセリングにより個人の体質と気質をチェックします。

アーユルヴェーダサロン
クリシュナ
krishna

上高井郡小布施町大字小布施2277
TEL / 050-3368-4545
TIME / 10:00~18:00 (日・月曜日定休)
<http://krishna-obuse.jimdo.com/>
<https://www.facebook.com/komorabikirara>



「あきかさん? ああ、あのね、公会堂の横にあるやつがそれだよ。」
コトの発端は、小布施の市街地のいろんなところにある、「物語ボックス」と呼ばれる紙芝居。

秋葉権現、秋葉さん、あきかさん。
紙芝居から始まる、駅近謎解き散歩。

number.04 あきかさん 小布施町・横町

栗が丘小学校のすぐそばの交番のところにある紙芝居のタイトルは「あきかさん」。

火難除けの神として知られる「秋葉権現」が小布施では親しみをこめて「あきかさん」。紙芝居では町内の横町地区を火災から救ったというお話になっていますが、さてさて、町の方々にその所在をお尋ねしても、紙芝居は知っているけれど、ホントのところ、どこに「あきかさん」があるのかは知らない、という方が多い様子。色々なつてをたどって捜索を進め、ようやく巡り会えた横町の事情に詳しい方に伺うと、当たり前のように冒頭のセリフ。

教わった通りに住宅街の道をすすると抜けていくと…ありました。ありました、横町の公会堂の脇にひっそりと。

ようやく巡り会えた「あきかさん」。正直なところ、うーん、これが?と思うばかりにこじんまり。

でも、こじんまりとして身近に感じられるからこそ人々に親しみをもって愛されて「あきかさん」のものがたりが生まれたのかも知れません。

この「あきかさん」、毎年三月には祭祀が開かれるようで、我こそは



民家に囲まれひっそりとたたずむ「あきかさん」。訪問時、物語のように風が吹いてくるかもしれません。



全5枚の紙芝居。あつという間に読めちゃいますのであきかさん訪問とあわせてお楽しみを。



雁 田山の麓、おぶせ温泉の横にある、ささやかな山門から右へと折れていく細い登り道。山門の扁額に記された木彫りの「雁田山穴観音」の文字に誘われるように、草に囲まれた細い階段を数分ほど登っていくと、山麓のまちなみを見渡せる高台の岩壁に掘られたちらいさなお堂にたどり着きます。

この穴観音、さまざま言い伝えとともに長い時間、ずつとずつと、ここにたたずんでいるようです。

信濃源氏の妻子が越後に逃げゆく折にこの岩窟で一夜を過ごしたとか、高井郡に配流された福島正則公が観音菩薩を安置した、とか、

キリシタン信徒がマリア観音を密かに祀っていた、とか。

草いきれに満ち満ちている登り道、苔むした道祖神、古びた芳名帳、眼前に広がる景色、そしてそこに込められた、時間を越えて人々が語り継いできた「ものがたり」。街のにぎわいから離れ、おとき話のような不思議な時間と空間にたえずみでみるのも良いかも知れません。

ここでふうつ、と一息ついたなら、さて、温泉へ。

(もちろん、ひとつ風呂浴びたあとの散策にも良いかと)



number.03 あなканのん【穴観音】 小布施町・雁田



ずっと、ひっそり、そしてささやかに。
歴史と眺めにひたる秘密のスポット。



⑥ 桜井甘精堂 カフェ茶蔵
「モンブランソフトクリーム」
350円(税込)

栗ペーストを混ぜ込んだソフトクリームの上に栗の木テラスのモンブランをトッピング。栗そのものの味わいはもちろん、風味のバリエーションまで楽しめちゃいます。こだわりのコーンも是非楽しんで!

●長野県上高井郡小布施町大字小布施中町779 / ☎026-247-5601 / 9時~16時(冬季休業)



⑦ 小布施屋
「ダブル(牛乳/栗)」370円(税込)

新鮮な地元の牛乳をベースに小布施町特産のチェリーキッス®やプラムリーを使用した小布施屋独自のジェラートをお楽しみいただけます。

●長野県上高井郡小布施町大字中松 496-1 6次産業センター内 / ☎026-242-6600 (6次産業センター) / 10時~16時(土日17時)



④ 長なり旬粋
「栗とマロンクリーム・マロンアイス」
「スノーアイス 栗と黒みつ」
530円 / 480円(税込)

クレープ生地は信州産米粉100%。もちもちした食感がマロンアイスにとっても良く合います。ちょっと和風の味わいと独特の食感がやみつきになる栗と黒みつのスノーアイスも是非!

●長野県上高井郡小布施町小布施上町西側 977 / ☎026-247-6780 / 10時~16時



③ 竹風堂
「栗あんソフトクリーム」300円(税込)

上質な乳脂肪となめらかな純栗あんにこだわり、15年以上も人気を保ち続ける小布施の名物ソフトクリーム。一口食べると濃厚な栗あんの風味が口の中いっぱいふんわりやさしく広がります。

●長野県上高井郡小布施町973 / ☎026-247-2569 / 9時~18時



⑤ Cafe Saku G (栗庵風味堂内)
「栗づくし」470円(税込)

旬の風味をそのまま閉じ込めた自家製の栗あんとトッピングの国産栗の味わいはまさに「栗づくし!」関東からわざわざこれを食べるために小布施に来るファンがいるのも納得です。

●長野県上高井郡小布施町414 / ☎026-247-3090 / 8時30分~17時30分(17時LO)



number.05
あ いすくりーむ
【アイスクリーム】

小布施アイス図鑑 / これであなたも小布施アイス博士 /

知 っていましたか?小布施にこんなにもアイスを扱う名店がひしめきあっていることを。一挙紹介、小布施アイス図鑑です!あのアイスからこのアイス、食べ歩いて味くらべなんていかがでしょうか。



① 小布施堂 傘風楼
「栗アイス」350円(税込)

大粒の栗が次から次へとアイスの中から現れてくる贅沢な味わい。アイスの素材には小布施産牛乳と卵を使用。そのこだわりはまさに元祖、「まると小布施!」な一品です。

●長野県上高井郡小布施町808 / ☎026-247-1113 / 9時~17時



② エルパート
「ダブル(牛乳/生チョコ)」400円(税込)

「コクがあって、あと味すっきりさわやかなアイス」を追求し続けて20年!季節ごとの旬の果物も含めた16種類以上のラインナップはアイス専門店ならではの!

●長野県上高井郡小布施町栗が丘 220-5 / ☎026-247-3269 / 10時~18時30分/水曜定休

number.06

あ

いあんくろう すけーとびれっじ

小布施町・都住



スケートボードが好きだったら
誰でもオーケー！

アツくてユルい「オブセ横乗り系」
スタイルの発信拠点。



国 道430号線沿い、都住にあるスケートボード施設のアイアンクロウスケートビレッジ。ランプと呼ばれる斜面の上部に立ち、かわるがわる自分の呼吸でドロップインしていくスケートボーダーたち。常連さんも初めてここに足を運んだ人も和気あいあいと会話を交わし、それぞれのトリックに自然に声がかかります。

めての人のためにスケートボードを貸し出したりもします。ランプにはロープも備えてあり、それぞれのレベルに合わせてスキルを磨いていくことができますよ！（スタッフ・下平さん）

ストイックなアツさとオープンなユルさが不思議と調和し、レベルを問わず女性やキッズも含めて「スケートボードが好きなら誰でもオーケー！」のウェルカムな雰囲気。これもひとつの「小布施スタイル」ですね。

アイアンクロウ スケートビレッジ

長野県上高井郡小布施町
大字都住 1127
☎ 090-8893-1982
http://labibeloterie.com/
1日利用料金：500円



number.07

あ

んていーく あくせさりー

「アンティーク
アクセサリー」
小布施町・伊勢町

例 えば、こんな物語を想像してみてください。「歴史のある街に、アクセサリーが大好きなひとりの女性が小さなお店を出しました。古い倉庫を改装したそのお店にはヨーロッパのアンティークのアクセサリーが並び、そのアクセサリーたちはその女性がパリの蚤の市で集めた素材を使ってひとつひとつ丁寧に作りあげたもの。落ち着いた音楽と心地良いアロマの香りが流れる店内。ある時はお客さんが自分に似合うアクセサリーをにこにこしながら選び、またある時はアクセサリー作家さんが自分の作品の素材を真剣な眼差しで品定めしています。」

そんなお店があったら素敵だなあ、と思う女性の方、多いのではないのでしょうか。うん、古いヨーロッパの映画か、絵本みたいなお話ですね。実はこのお話、現在進行形で実際にある物語なんです。舞台は小布施にあるラ・ビブロットリーというお店。



「気軽に使ってほしいから（古川さん）」と話すとおり価格帯は抑えめ。日常使いの素敵なアクセサリーを宝探し気分で見つけてみては。



ヨーロッパ、オブセ、蚤の市。
一人の女性と
アンティークアクセサリーの
ものがたり。



店内の装飾や家具も古川さんがひとつひとつ丁寧に選んだもの。古川さんのハンドメイドのアクセサリーはもちろん、アンティークのパーツ類も充実しています。

La Bibeloterie

（ラ・ビブロットリー）

小布施町大字小布施 734-3
☎ 050-5551-6066
10:00～16:00（4～11月は
17:00まで）火曜・水曜定休
http://labibeloterie.com/
（ネットショップあり）



古川さんの新作アクセサリー。「オーダーメイドもちろん受け付けています。県外から足を運んでくださるお客さまも多くいらっしゃいますね（古川さん）」



「切り株に腰掛けちょっとひとやすみ」、
そんな気分で日曜朝のお買い物。

松

川橋北の交差点のそば、
日曜、午前七時半。静か

で涼やかに心地よい小布施の
朝、この一角は暖かい賑わいに
包まれています。平屋の建物の
外にはパイプ椅子が並び、ご近
所のお父さま方がご歓談、建
物の中では頭に手ぬぐいを巻い
たご夫人さま方の井戸端会議。

この賑わいの正体は「栗どっ
こ市」と名付けられたつぎと
した「朝市」。この栗どっこ市、
実は「小布施を訪れる人との交
流の場」として「地元の方のお
茶飲み広場」という役割も果た
している朝市なんです。

「まあお茶でも飲んでいって
よ、ささ、座って座って」

誘われるままにパイプ椅子に
座り、あたりを眺めると地元産
の野菜やお米や牛乳がお手頃
価格で並んでいます。伝統野菜
の小布施丸なすや八丁きゅうり
もあります。

小さな娘さんを連れた近所
のお父さまが牛乳を飲んで帰っ
ていたり、ふらっと訪れた雰
囲気の若者に農家の方が地元の
とっておきの情報を伝えていた

りと、モノを通したちよっと
素敵なコミュニケーションが
ここでは成立しています。

みなさまが腰掛けていているパ
イプ椅子が切り株に見えてく
る（栗どっこ市栗の切り株）っ
て意味なんですよ。ような、
のんびりと優しい気持ちに
なれる栗どっこ市。軽い気持
ちで訪れて、ほんのちよっと
勇気を出して中に入ってみて。
そして「これって今が旬です
か？」みたいに素直に聞いて
みてください。さらに小布施
が好きになりますよ。

また、北斎館駐車場内、中
町南交差点にも「栗どっこ市」
のお店があります。こちらは
朝に限らずお店が開いていま
すので、茶色ののれんを見か
けたら地元のお野菜を見てみ
てはいかがでしょうか。



栗どっこ市
小布施町小布施 811-2
☎ 026-247-4922
9:00～16:00
朝市 7:30～（5月～10月）
8:30～（11月～4月）



浄土真宗本願寺派
浅野山西證寺住職
朝比奈道人



布施の名士を妖怪化、イラストにするという企画、「オブセにナ
ンカ妖怪」。其の一は503年の歴史を誇る西證寺のご住職、朝比奈
道人さん。

まず気になったのは朝比奈さんのトゲトゲの数珠。聞けば菱の実の数珠で「ト
ゲが手に刺さると痛さでシュンとなる（朝比奈さん）」と自戒に溢れたモチフ
ではあるものの、パンク風のアクセサリーにしか見えないような。そして続けての
「子どもはね、お経も音階で捉えてすぐに覚えちゃう」ってお話も、もうパンク数
珠に引きずられてロックなトピックに聞こえてしまふから不思議。

その鐘の音をお登こはんや

仕事終わりの目安にしてい
る方もいるようです。響き渡る、ト

ゲトゲ数珠を巻き付けた手で鳴らされる鐘の大
音響。毎日がある意味ロックフェスです。

25年の役場勤めの後に住職になられた朝比奈さ
ん。まちの人と接する機会も豊富で「小布施に



バドミントン・テニス好きの朝比奈
さん、必殺のラケットさばきを
妖怪倶楽部の面々を相手
にご披露。流石の
フォームです。



来ると落ち着くって言う観光客の方も多いよね。小
布施くらいコンパクトで良いまちって無いよ。ほ
んとに」と、小布施への想いは人一倍です。ヨ
ガのイベントを開いたり、天井絵や鐘つき堂
を目当てに訪れるリピーターがいたりと開
かれた雰囲気西證寺。「でもね、お寺は
もともとそういう、自然と人が集まる場所
だったんだよ（朝比奈さん）」と、まちの
人想いの人柄もお寺の有り様と重なりま
す。これからもとても身近な、何かあった
時に頼れる存在であり続けることでしょう。
ということで、朝比奈道人さんの妖怪認定
は「数珠掛狐」！まちの誰かのために、菱の実
の数珠を握りつつ、今日も心を込めて高らかに鐘
を突いています。



数珠掛狐
（じゆすかけきつね）
西證寺に住む、首に菱の実の
数珠をかけた狐。
町に災事があると鐘を突いて
知らせられる。

おばあちゃんの背中

おばあちゃんのお手製料理のレシピをお宅訪問取材、調理中のライブレポートとともに紹介する『おばあちゃんの背中』、初回は畔上静子さんの二らせんべい。それぞれ家庭の味がある北信クラシックのこの一品、畔上家らしいレシピはこんな感じ。思いうたやとおぼれ話とともにゆったり楽しんでください！



下準備の手早さはさすが!



焼き具合は焦げ目がつくくらいを目安に。

2

フライパンを熱し、油をひいて焼いていく。焦げ目がついたらひっくり返す。パチパチ美味しそうな音と良い香り。焼きあがったらキッチンペーパーに並べていく…そんな後姿を見ると不思議な被り物に目が止まる…手ぬぐいを巻いているだけにしては結び目が見えない…なんだこれは…とにかく気になる…そして似合う…（いかんいかん料理に集中…）

気がつけばもう完成。そのまま味噌漬の塩気で食べるもよし、砂糖醤油をつけて食べるもよし。もちもちの食感にしんなりしたナスやニラがベストマッチ、うまい！

お腹が満たされ思い出す。謎を解明しないと帰れない…その不思議な被り物を見せてもらうと、手ぬぐいを縫い合わせゴムを通しただけ…なんともシンプル、されどこれまた静子マジック…

畔上家に嫁いだ時は、3世帯7人家族。大きいばあちゃんと小さいばあちゃん…時代が時代だけにさぞかし大変

「どうぞお上がり下さい」の声は畔上
静子さんご本人。小柄でシヨートカット、人柄がにじみ出る笑顔、花柄のエ
ブロンと頭には手ぬぐい。準備万端の
ご様子。どうやら下準備を済ませよう
とした静子さんを娘さんが止めてくれ
たそうで…あぶないあぶない…では
さっそくキツチンへ…

東の窓からの日差しをたくさん吸い込んだキッチンには照明が無くても充分明るい：手際よく準備を進めながら「レシビなんか無いんだよ」と静子さん。いいんです：既にレシビが存在するとこの企画、8割方無意味なものに…「昔は、おこびれといえばニラせんべいだったねー」


※ちなみにおこびれとはおやつのこと…

まずはボールで卵を溶く。地粉と砂糖を入れ3cmほどの長さに切ったニラ

を投入。さらに牛乳を量り入れたところ
で出ました静子マ
ジックーみじん切り
した「野沢菜の味噌
漬け」と3cm程に短
冊切りにした「小布
施丸ナス」。

※ナスはあらかじめ
水にさらしてあく抜
き済み：

「農家だから、こびれ
は畑で採れたものでなんとかしてたね」
ずっと大家族だったという静子さん。
24歳でお嫁に来てから今日までとにかく
無我夢中。同じ農家に嫁ぎ、ともに
野菜を売ってきた仲間がいたから頑張
れたと言つ：



菜箸でよく混ぜ合わせているところ
で一瞬何かを投入。隠し味？見逃した！
慌てて確認したらただの水。どうやら
水気が足りなかったようで、このへん
の微調整は長年のカン…

だったに違ひなく……そんな姿をずっと見てきた一緒に暮らす娘さんは「あんな偉大な母のように、私は絶対なれない。本当に頭が上がない……母の昔話を少しずつ聞くようになったのは自分が家庭を持ってから」と言っ……

静子さん…苦労したあなたの背中を娘はちゃんと見ています…


レシピ
紹介



たっぷり
砂糖醤油で
召し上がれ。



ニラせんべい(4人分)

- ・ニラ 150g
 - ・小糸施丸ナス 1個
 - ・野沢菜の味噌漬け 70g
 - ・たまご 1個
 - ・牛乳 200cc
 - ・地粉 250g
 - ・砂糖 大3杯
 - ・水 120cc
- 



明るく機能的な畔上家のキッチンと髯子さん。

For the all of "Outdoor lovers"
in the world.

ふ れぜんと

今号で取材した全てのもの・人・お店に訪れ、証拠写真を送ってくださった方、先着3名様に「あ」のつく、小布施町の何かいいものをプレゼントいたします。
※小林秀樹さんとは2ショット写真を撮り、アイスクリームは紹介したものを全て食べることが条件。

応募先

▶ aiueobuse@gmail.com

締切: 「い」号発行日まで

ふ。るって
ごめん暑くさい★

ぼ しゅうちゅう!!

「あいうえおぶせ」を置いてくださる方

「あいうえおぶせ」に協賛してくださる方

「あいうえおぶせ」に広告を出してくださる方

を大募集しております。「い」号を発行するために…
みなさんのお力が必要です。

ど うが

ここから
チェック!!

P4・5の取材の様子を動画で紹介中! 撮影・編集
はLODE Filmです。映像が必要の際は下記まで!



栗の映像撮りませんか?



LODE Film
local design film

映像・Web制作
空撮・デザイン

TEL. 090-9358-4819 / Mail. takefushiyuki@gmail.com

へ んしゅうこうき

「出身は小布施です」そう言うとき必ず「いいところですね!」と返ってくる。その意味が最近、わかるようになりました。『あいうえおぶせ』を通じて出会った人、協力してくれた人、みんな最高でとても素敵な人ばかり。それだからもっと、もっと紹介したくなっちゃう。小布施にはこんなに面白い人がいっぱいいるんですよ。観光地だけじゃない、小布施の魅力をもっと知ってほしい。

「い」ではどんな人や犬に出会えるんだろう。今からとてもわくわくしています。(編集 かろうそ)

創刊にあたりご協力してくださった皆様、本当にありがとうございました!

昨年、雪のちらつく頃に創刊を決意し、桜の頃には決まっていた企画を全部くつがえし、梅雨の頃には自分たちが楽しいと思うところに立ち寄り、夏の暑さとともに取材に励み、秋の涼しさの中、めでたく創刊号の発行となりました。いろんな人のいろんな思いが詰まった『あいうえおぶせ』。いっしょに小布施の名物として、当たり前前にまちの中にとけ込む存在になればな、と思います。(編集 M)

あいうえおぶせ 第1号/創刊号「あ」でみる小布施

発行日/2014年10月25日

編集・発行



MOUNTAIN DRIVE lab.

<http://www.aiueobuse.net> ①がんばって準備中

<http://www.facebook.com/aiueobuse> (Facebook)

おばあちゃんの背中 取材・文協力

松澤ゆかり (ICHI cafe)

オブセにナンカ妖怪 取材・イラスト・写真協力

妖怪倶楽部のみなさま

写真協力 (P4・5)

竹節友樹 (LODE Film) 畔上広行 (LODE Film)

動画撮影・編集

竹節友樹 (LODE Film)

お問い合わせ



MOUNTAIN DRIVE lab. (マウンテンドライブ ラボ)

あいうえおぶせ編集部 aiueobuse@gmail.com

次号は…



次は「い」で始まる小布施。来年春の刊行に向け、現在の編集部はノーブランチ真っ盛り。「『い』って言ったら『犬』?」「『い』って言ったら『石』?」とそんな感じで迷走も甚だしく。土壇場に強い『あいうえおぶせ』、次号もご期待ください!!

あ
すは満月、
きょうは美菓月。

栗あんのしあわせな味わいかた、ふたつ。
小布施の夜空を見上げた折に、
ふっと思い出してみてください。
まんまるお月さまなら、栗どらやき。
すこし欠けたお月さまなら、美菓月。
きょうも誰かのほっぺたに、
やさしい甘さがひろがります。